

ちば文化だより

Millefeuilles ミルフィーユ Vol.1



contents

特集 こんにちは、千葉県文化振興財団です。

特集2

ようこそホールへ!

インタビュー 井上道義 指揮者

インタビュー2
運命の出会い..... 西方正輝 チェリスト&トランペッター

海の文化手帖..... 創作狂言「里見八犬伝」

CHIBA プライド..... 銚子漁港と萬祝

ちばゆかり人..... すずきらな (旭市出身)

2022
創刊
号

ホール写真(上から):
千葉県文化会館
千葉県東総文化会館
千葉県南総文化ホール
青葉の森公園芸術文化ホール



文化振興を通じて千葉を元気に!

千葉県では古くから素晴らしい文化資源や伝統芸能が受け継がれ、そうした土壌もあって才能ある文化の担い手たちを数多く輩出してきました。そんな千葉の強みを生かしながら、未来に向けて文化の創造、継承、発展を導くため昭和61年に設立されたのが、千葉県文化振興財団です。

千葉県文化振興財団は、県・市町村・県民の三位一体で地域文化の振興を図り、県民にとっての生きがいや精神的な誇りを育みます。また、県民の自主的な文化芸術活動を支援することによって、県内の貴重な

文化資源の活用と次世代への継承を目指しています。

こうした目標を達成するために取り組んでいる様々な事業の中でも大きな軸となるのが、千葉県文化会館と千葉の森公園芸術文化ホール(千葉市)、千葉県東総文化会館(旭市)、千葉県南総文化ホール(館山市)の4館での企画と運営です。エリアに分かれた各館を連携させながら運営し、全県域を網羅した幅広い文化芸術活動の場を提供すると共に、県民がどの地域でも優れた文化芸術に触れられる環境づくりに尽力しています。

こんにちは、 千葉県文化振興財団です。

『ミルフィーユ』創刊に込めた思い

このたび新たに創刊した、ちば文化だより『Mille Feuilles(ミルフィーユ)』。フランス語で「千の葉(千葉)」を意味する『Mille Feuilles』が由来です。これまでのちば文化の継承、これから若い世代が創り出すちば文化、そしてそこにあるアーティストや県民の思いなどが、幾層にもなって重なりあい形成されていくイメージを表しています。

『Mille Feuilles』では主に、財団が取り組んでいる文化芸術にまつわる事業活動を様々な角度から紹介。事業活動に携わるアーティストや関係者の方々を

クローズアップし、活動の内容や意義を親しみやすく伝えます。また、ちば文化を広く知っていただけるよう、文化芸術だけでなく食文化、スポーツ文化、お祭りなど地域の文化も取り上げる予定です。

冊子は県内各所に配置し、一人でも多くの方に千葉の文化芸術を身近に感じてもらい、「文化を楽しみたい」「文化活動に参加したい」という気運が高まるよう努めていきます。そして、ちば文化への理解が深まることで県民の皆さまの地元への愛情も高まることを願っています。



「よい音で、よい演奏を」をモットーに、都道府県レベルでは全国初の“少年少女によるオーケストラ”として1996年に結成。県内に在住あるいは通学している10歳から20歳までの団員160人が、土曜・日曜に千葉県文化会館へ集まり練習に励んでいます。さらに、定期演奏会、地域演奏会、招待演奏などの演奏活動を県内外で行い、これまで世界的な指揮者やソリストとの共演も数多く実現。また、サントリーホールでの単独公演やアメリカなど海外での公演も行い、好評を博しました。

千葉県少年少女オーケストラが目指しているのは、演奏技術の習得、そして音楽を通じて豊かな人間性を身につけること。教職40年間をひたすら音楽教育に情熱を傾け続けた佐治薫子さんを音楽監督に迎え、一人ひとりが正しい音程で美しい音が出せるまで繰り返し練習し、音を合わせてハーモニーを奏でる楽しさを教えています。



千葉県少年少女オーケストラ

千葉県文化振興財団では次世代を担う若者たちを対象に多様な文化芸術事業を企画・実施しています。子どもたちが文化芸術活動に参加する機会をつくり、プロに成長した彼らをコンサートに招いたり、プロに成長した彼らをコンサートに招いたり、次世代の子どもたちを指導してもらおうなど、人材の育成と合わせて新しいちば文化の創造を目指します。

あらたな ちば文化の創造



文化芸術の発信拠点である千葉県立文化会館4館では、連携事業として、千葉にゆかりのあるアーティストを招くなど様々なイベントを実施しています。2021年11月から2022年2月にかけて、世界を舞台に活躍している旭市出身のピアニスト・實川風による『ピアノリサイタル ～ショパンの旅～』を開催しました。

全3回の公演は、各地域に住む皆さんが優れた文化芸術に触れることができるよう、千葉市、旭市、館山市と場所を移して実施。各公演ともに「ピアノの詩人・ショパンの魅力的な作品を届ける」とコンセプトを統一し、またヴァイオリニストの松田理奈、小林杏成、伊藤亮太郎をゲストに招いて、バラエティ豊かな演目を披露しました。



千葉県立文化会館
本館連携事業

「實川風・ピアノリサイタル」



「県民の日記念事業」として毎年6月に千葉県文化会館で開催している『若い芽のαコンサート』。国内外のクラシック音楽コンクールで優秀な成績を収めた、千葉県にゆかりのある若手演奏家3名が出演、県を代表するプロ・オーケストラである千葉交響楽団との共演で毎年素晴らしい演奏を披露しています。昨年まで34回開催され、これまで出演した演奏家はいずれも国内外の様々なフィールドに活躍の場を広げています。

このコンサートは、若手演奏家の育成だけでなく、県民が素晴らしい音楽に触れる機会を提供することも目的としているため、鑑賞料金は無料。毎年、大ホールの収容人員数を上回る観覧応募が寄せられる人気ぶりで、次世代のクラシック音楽界を担う若者たちの通過点を見届けるイベントとして定着しています。

若い芽のαコンサート





ダイナミックかつ情熱的な指揮で世界を股にかけて活躍し、千葉県少年少女オーケストラ（以下、少年少女オケ）の定期演奏会にも多く出演している指揮者・井上道義さんにインタビュー。千葉にとって大切な財産である海にまつわる思い出や、千葉の文化芸術のあり方について語っていただきました。

井上さんは千葉にまつわる思い出が何かありますか？
子供の頃に通っていた小学校では夏に臨海学校があり、富浦で毎年1週間ほど泳いでいました。また、会社を経営していた父の運転手が千葉出身で、中学生の時に実家の白浜に泊めてもらったことがあります。運転手の弟が私と同じ年齢で、一緒に遊びました。

ジュニアオーケストラの存在意義についてどのようにお考えですか？
少年少女オケのメンバーの多くは将来

千葉は私に海の「原体験」をくれた思い出の場所



指揮者 井上道義 Michiyoshi INOUE, conductor

PROFILE 1946年東京生まれ。桐朋学園大学で齋藤秀雄氏に師事。1971年にミラノ・スカラ座主催グイド・カンテリ指揮者コンクールに優勝し、一躍注目を集めて世界的な活躍を開始する。1976年に日本フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会で日本デビュー。その後、ニュージーランド国立交響楽団の首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団の音楽監督、京都市交響楽団の音楽監督、常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢の音楽監督を歴任。1999年3月に千葉県少年少女オーケストラの定期演奏会に初登壇。



▶千葉県少年少女オーケストラとは指揮者の中で最多共演。海外からの招待と一緒にヨーロッパ3都市を巡ったことも。
写真は「第23回定期公演」(2019年3月30日)。

——当時のことを覚えていますか？

白浜で泊まった家は茅葺屋根で、外では豚やニワトリを飼い、田んぼや畑に囲まれたのどかな場所でした。家の近くには海があり、海女さんがアワビを獲ってタライいっぱいにくれて、母親が「どうやって食べようか」と困ってました(笑)。他にも、巨大な鯨を解体して工場へ運ぶ様子も見学し、その生々しさが衝撃的だったのを今でも覚えています。こうした海の「原体験」をくれたのが千葉で、すべてが良い思い出です。

——「海洋県」の千葉らしい思い出ですね。

私自身は良い思い出ばかりですが、戦争を体験した両親にとっては海の向こうに戦いがありました。当時の体験をたくさん聞かされた影響もあり、海には「広くて美しい」だけではない複雑な思いがあります。

——どのようなきっかけで少年少女オケの指揮を務めるようになったのですか？

佐治薫子さんが少年少女オケの音楽監督に就く数年前に、佐治さんが指導していた鬼高小学校のオーケストラ演奏を偶然聴いたのがきっかけです。小学生とは思えないほど演奏のレベルが高くてビックリしました。当時は「いつか佐治さんと何か一緒にできたらいいな」と思っただけでしたが、その後、少年少女オケが設立されて佐治さんから声を掛けていただきました。まさに運命ですね。

海に囲まれた千葉県で育った文化・芸術を紹介します



創作狂言 「里見八犬伝」

誰もが知る八犬士の活躍が狂言の世界へ生まれ変わる

2005年から毎年1作品ずつ、千葉にまつわる様々な物語から狂言を創り上げ公演している「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト。その一環として、戦国時代に安房を拠点にしていた房総里見氏という、千葉県民に馴染み深い歴史が題材である曲亭馬琴の長編小説を狂言化したものが『里見八犬伝』です。ある程度史実に則しながら、正史の上では恵まれずに終わった善良な人物たちを馬琴の意のままに大活躍させる冒険ファンタジーを、喜劇と風刺を効かせた狂言というアプローチで新しく生まれ変わらせています。

このプロジェクトは、プロの狂言師だけでなく、授業で狂言の舞台創作について学んでいる千葉大学の学生など一般の県民も参加しているのが特徴的です。千葉に古くから伝わる民話や伝承を、忘れられることのないよう現代に蘇らせ、そして後世にも伝えたい——そんな思いが創作狂言に込められています。



千葉県が誇るモノやコトを紹介します

銚子漁港 水揚げ量11年連続日本一

近海に日本有数の好漁場を有している銚子は全国屈指の水揚げを誇り、様々な漁業が営まれています。銚子漁港の2021年の年間水揚げ量は28万309トンを記録し、11年連続の日本一となりました。

大漁旗と萬祝 マイワイ 古くから漁業で栄えてきた房総の地が誇る伝統工芸といえば、江戸時代に始まった大漁を祝う行事で引出物として漁師たちに配られた晴着「萬祝着」と、その染色技術を用いて作る「大漁旗」。江戸時代から続く萬祝は、千葉県指定伝統的工芸品に指定され、最近では、結婚式や出産祝いの贈り物としても人気があり、シャツや帽子、かばんなどの商品も製作されています。



▲一つひとつが手作りの「萬祝着」
(写真提供: 鴨川萬祝染 鈴染)



▲少年時代。千葉・白浜の友人(奥)との一枚。

▶大人になってから訪ねた際、友人からもらった民芸品。流木で作った手作りだとか。今でも自宅に大切に飾ってある。

的に音楽で身を立てようと思っっているわけではなく、あくまで楽しんでイキイキと演奏している。それなのに、プロを目指す音楽学校のエリート集団と同じ結果を出している。私のように音楽を極めることにすべての情熱を捧げてきた人間にとっては驚きであり、同時に多くのことを改めて気づかされました。

——どのような気づきを得たのですか？

自分の子供を演奏家に育てようとして厳しい音楽教育を課す親もいますが、人間にはそれぞれ才能があるんだから、才能のある人がプロを目指せばいいというのが

私の考えです。少年少女オケの中にもプロの演奏家へと成長した人たちがいるけど、そういう人はもともと持っている才能を開花させただけです。その点、少年少女オケは「子供たちが音楽を通じて何か経験を得て、それが将来に生かされたら十分」と思って指導しているんじゃないでしょうか。そこが素晴らしいところです。

——今後、少年少女オケを含めて、千葉の文化芸術がどのように発展していくことを期待しますか？

東京が「ツルツル」と洗練されているのに対して、千葉はもっと野性的で「ザラ

ザラ」とした印象です。しかし少年少女オケが都会のエリート集団のようにする必要はありません。独自のありべき姿を目指し、仲間と競い合い切磋琢磨していただく。また、これまで音楽界に限らず様々な分野へ巣立っていった少年少女オケの卒業生たちに、オーケストラで音楽を学んだり舞台上に立つという経験がいかに自分の人生にプラスになったかを発信してほしい。そうした活動のまとめ役を『Mille Feuilles (ミルフィーユ)』に期待しています。

聞き手: 橋本志世(公益財団法人千葉県文化振興財団)
写真: 上平庸文

注目の若手アーティストたちにインタビュー。
彼らの活動に大きな影響を与えたモノや人との出会い、
そして文化芸術への情熱を語っていただきます。



世界とつながるSNSで より多くの人に 音楽を届けたい

西方正輝

チェリスト & トランペッター

Masateru Nishikata, cellist & trumpeter

1989年千葉県船橋市出身。10歳からチェロを始め、千葉県少年少女オーケストラにも在籍。第9回ビバホールチェロコンクール第1位をはじめ、多数のコンクールやオーディションで上位入賞を果たす。NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』のチェロソロ演奏などのスタジオワークや、メジャーアーティストのツアーサポート、さらにYouTubeなどSNSの動画配信まで精力的に活動している。トランペッターとしても活躍中。

西方さんの
YouTubeはこちら



10歳からチェロを始め、本格的にプロの演奏家を志すようになったのはいつ頃ですか？

中学1年生の時にロシアのチェリスト、ムステイスラフ・ポストロポヴィチの演奏をテレビで見たのですが、衝撃的にカッコ良かったです。そんなチェリストになりたいと夢を抱きました。

千葉県少年少女オーケストラにも在籍していたそうですが、印象に残っていることは？

富田勲さんのNHKの番組収録に参加したり、定期演奏会で一流の指揮者やソリストと共演するなど、大きなステージに何度も立たせていただいたことです。プロの音作りを間近で見ることができ、貴重な経験でした。千葉県文化会館大ホールの音響が大好きなので、また演奏したいですね。

チェリストとして自信や達成感を得ることができた出来事がありますか？

東京芸術大学の4年生でビバホールチェロコンクールの1位になったことです。実は在学中に「チェリストで将来食っていけるのか」と迷いが生じ、消防士やプロボクサーを目指していた時期がありました。でも、クラシック音楽以外の世界に広く触れて様々な影響を受けることで、ジャンルにとらわれない自分らしい演奏&活動スタイルができてきたと思います。

トランペッターとしても活動しています。幕張総合高校のオーケストラ部の定期演

が、トランペッターを始めたいきっかけは？

奏会にエリック・ミヤシロさんがゲストでいらしてくださって、音の迫力や美しさに血が沸騰するような衝撃を受けました。その後はチェロに専念していましたが、芸大を卒業した年に「自分でも吹いてみたい」という気持ちが芽生えました。

現在は映像作品のBGMなどのスタジオ収録や、SNSでの動画配信をされていますが、そこにはどのような思いがありますか？

SNSの登場によって、演奏家の知名度の広がり方は大きく変わりました。ステージが数千人のお客様の前で演奏するのに対して、SNSは世界中の人たちに聴いていただけるので、素晴らしい時代だなと思います。今後は、スタジオワークで培った経験を生かしながら、曲作りなどのアーティスト活動も行いたいですね。

今年の9月には千葉県東総文化会館でのコンサートが予定されています。どのような演奏会にしたいですか？

これまでYouTubeなどで、ジャンルにとらわれない様々な演奏に挑戦してきました。その技術や手法を駆使して、色彩豊かでワクワクできるコンサートにしたいと思います。

最後に、音楽の世界を志す未来の若者たちにメッセージをお願いします。

今はSNSを通じて、自分の演奏を好きになつてくれる人々と出逢える時代、将来の可能性も無限大です。なので、希望を持って「自分の音楽を磨いていってください」。

西方正輝さんの
コンサート
開催決定！

『西方正輝コンサート』

9月18日(日) 千葉県東総文化会館 小ホール
全席指定：一般¥2,000 U-30¥1,000 小中高生¥500

チェロとトランペットの二刀流で、ジャンルにとらわれず幅広く活躍中の西方さんによるコンサートをお届けします！



千葉県南総文化ホール

日生劇場ファミリーフェスティバル 2022 NHKみんなのうたミュージカル リトル・ゾンビガール

9月4日(日) 14:00開演

全席指定：一般¥6,000 U-30¥3,000

人気番組 NHK『みんなのうた』の歴代の名曲を全編に散りばめた、大人から子どもまで、みんなで楽しめるオリジナル・ミュージカルです。人里離れた森で暮らすゾンビの女の子・ノノと街で暮らす人間の男の子・ショウの小さな友情の物語。主演の二人からコメントをいただきました。



熊谷彩春
(ノノ役)

「地元の千葉で初めて舞台に出演できると聞いてから、ずっとワクワクしています。舞台上で描かれるゾンビと人間に分断された世界は、新型コロナウイルスや戦争によって分断された現実の社会と重なる部分があり、そんな今だからこそ演じる意味があると思います。お子さまはもちろん、ぜひ大人の皆さまもご覧になってください。」



石井杏奈
(ショウ役)

「人間の男の子・ショウとゾンビの女の子・ノノとの出会いによって、二人は成長を遂げていきます。その中で、二人や周りの人たちがどのように相手のことを思い合うようになっていくか、という気持ちの変化が伝わってくる作品です。景色も空気もキレイな南総に、物語のみんなが一つになるパワーを届けたいと思います。」

青葉の森公園芸術文化ホール

伝統芸能スコラ

8月20日(土) 14:00開演

全席指定：大人¥2,000 U-30¥1,000
こども(3歳~高校生)¥500

子どもも大人も楽しめる「歌舞伎の音楽や楽器」をテーマに、体験型要素を取り入れたコンサート。楽器の打ち方ひとつで情景の描写や人物の心象を表現する伝統芸能を、聴いて、見て、触って、体験します。若手囃子演奏家の「若獅子会」のメンバーが伝統音楽の世界へご案内します。



鳳聲晴久

4つのホールが連携して
県内各地で公演を開催。
ちばを盛り上げます!



※詳細は5月頃ホームページ
にてお知らせする予定です。

『おやこdeオペラ「まじっく・ふるうと」～0歳でもOK!みんなが楽しめる歌芝居～』

オペラ「魔笛」をベースにした楽しい歌とお芝居で、「千葉の城」を舞台に繰り広げられる冒険物語。赤ちゃんも一緒に楽しめます。大人¥1,600 / 子ども(小学生以下)¥1,000 ※3歳未満は保護者1名につきお子さま1名までひざ上無料。お席が必要な場合は有料。

◎千葉公演 ※2回公演
7月3日(日) 10:30/14:00開演
千葉県文化会館 小ホール

◎八千代公演
8月20日(土) 14:00開演
八千代市市民会館 小ホール

◎君津公演
7月31日(日) 14:00開演
君津市民文化ホール 大ホール

◎浦安公演
8月21日(日) 14:00開演
浦安市文化会館 小ホール

◎勝浦公演
8月11日(木・祝) 14:00開演
勝浦市芸術文化交流センター
(キュステ)ホール

◎東金公演
9月11日(日) 14:00開演
東金文化会館 小ホール



昨年の公演

千葉県文化会館

千葉県少年少女オーケストラと アキラさんの大発見コンサート2022 千葉公演

7月17日(日) 14:00開演 全席指定：¥1,000

作曲家・舞台音楽家として多岐に渡るジャンルで活躍し、テレビでもおなじみのアキラさんこと宮川彬良さんと千葉県少年少女オーケストラが共演する、毎年恒例となっている夏の人気コンサートを今年も開催します。その天才的な作曲力とオーケストレーションによって音楽の魅力を広く伝え続けているアキラさんが、楽しいお話を交えながら、自ら作曲した「大発見マーチ」の他に、「フニクリ・フニクラ」「庭の干草」「海」「砂山」「ビビディ・バビディ・ブー」「ジョージア・オン・マイ・マインド」などジャンルの枠を超えた作・編曲作品を披露。世代を問わず楽しめるバラエティ豊かなプログラムとなっています。



宮川彬良

※曲目は変更になる場合があります。

南総公演 もありません!

千葉県少年少女オーケストラと アキラさんの大発見コンサート2022 南総公演

7月16日(土) 15:00開演 全席指定：¥1,000
千葉県南総文化ホール

千葉県東総文化会館

TOSO Dance Festival RISE2

8月28日(日) 14:00開演 全席自由：¥500

地域の中高生が企画・運営に参画して作り上げるストリートダンスの祭典。1部のジャズ×ストリートダンス「フリースタイルバトル」では、



2019年8月に和太鼓×ストリートダンス「旭×来×舞」で当時中学生ながらセンターを務めたダンサーが挑戦します。さらに、中高生が自ら初めてチームを作って振付・演出まで創作する「RISE Projectチーム」のステージと、協賛ダンススクールのステージによる3部構成で行います。若い情熱がほとばしる、迫力と感動のパフォーマンスをぜひご覧ください。

ちば ゆかり人

千葉県にゆかりのあるアーティストや職人を紹介します



すずきらな (旭市出身)

黑板アート作家、画家。千葉県立匝瑳高等学校で美術部に入学し、油絵を中心に制作。武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科に進学し、課外活動で学校の黑板に大きな絵を描く黑板アートを多数制作して話題に。現在は株式会社LUFUに所属し、ライブペイントや舞台装飾など活躍の場を広げている。

株式会社LUFUホームページ <https://www.lufu.co.jp/>
Twitter <https://twitter.com/RanaS0803>
Instagram <https://www.instagram.com/ranas0803>



▲東日本大震災をきっかけに築かれた防潮堤に復興の願いを込めて100mの巨大壁画「竜王絵巻」を制作(旭市)。

表紙のイラストを描き下ろしてくれたのは、黑板アート作家として活動しているすずきらなさん。黑板アートの制作は卒業シーズンを中心に学校から依頼されることが多く「いろんな学校を巡り、先生や生徒と触れ合うのが楽しい」のだとか。そんな彼女が目指しているのは、美術館に観に行くような高尚なものではなく、生活の中にあるアート。「自分の作品が



▼佐倉市立下志津小学校創立50周年記念



アートへの興味の入口になれば嬉しいです」。数時間かけて描いた黑板アートは、授業が始まる前に一瞬で消されてしまいますが、「そこがまた魅力なんです」と語るすずきさんの作品は、子どもたちの記憶にずっと残るはず。

次号の表紙もお楽しみに!



▲昨年の千葉県東総文化会館開館30周年では、シーズンごとに正面口をウィンドウアートで彩りました。今年は千葉県文化会館、千葉県南総文化ホール、青葉の森公園芸術文化ホールの周年企画でも、ウィンドウアートを展開する予定です。

募集! 読者アンケート

公演チケットがあたる!

アンケート内容

『Mille feuilles(ミルフィーユ)』をお読みいただき、ありがとうございます。発行を記念して、アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で3組6名様に7ページで紹介している『NHKみんなのうたミュージカル リトル・ゾンビガール』の公演チケットをプレゼントいたします。ぜひ感想をお寄せください。

応募方法: 「はがき」もしくは「WEB」にて、アンケート項目と必要事項(お名前、ご年齢、郵便番号、ご住所)をご記入のうえご応募ください。

送り先: 〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号 千葉県文化振興財団『ミルフィーユ』アンケート係

WEBからの応募はこちらから



締切: 2022年8月5日(金)必着

当選発表: 厳正なる抽選の上、当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

※当選に関するお問合せには回答いたしかねます。※応募は日本国内在住の方に限ります。※チケットの転売、オークション出品はご遠慮ください。※ご記入いただいた個人情報は厳格に管理し、あらかじめご本人の許可なく、個人が特定できる情報を外部に提供することはありません。※お寄せいただいたご意見やご感想は、当ホームページや広報誌等に転載させていただく場合がございます(いただいた内容を転載する際は事前にお知らせすることなく、必要な範囲で編集する場合があります)。

- 『Mille feuilles(ミルフィーユ)』はいかがでしたか? ご意見、ご感想を教えてください。
- 興味深かった記事を教えてください。(できれば理由も)
- 今後取り上げてほしい話題、人などあれば教えてください。
- どこで『Mille feuilles(ミルフィーユ)』を手に取りられましたか?

ホールへのアクセス

千葉県文化会館

- JR内房線・外房線「本千葉駅」より徒歩約10分
千葉都市モノレール1号線「線庁前駅」より徒歩約7分
京成線「京成千葉中央駅」より徒歩約20分
- JR千葉駅中央改札(東口)より千葉大学病院、南矢作行き「郷土博物館・千葉県文化会館前」下車 徒歩約2分

〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号
TEL: 043-222-0201(代)



千葉県東総文化会館

- JR総武本線「旭駅」よりタクシーで約5分/徒歩約15分
- 千葉東金道路、圏央道経由、銚子連絡道路・横芝光ICから国道126号銚子方面へ約30分
東関東自動車道・大栄ICから約40分

〒289-2521 旭市ハの666番地
TEL: 0479-64-2001



千葉県南総文化ホール

- JR館山駅東口より徒歩約20分
- JR千葉駅より高速バス(南総里見号)「南総文化ホール」下車 徒歩約3分
JR館山駅より亀田病院行き、安房白浜行き「南総文化ホール」下車 徒歩約3分
- 館山自動車道・富浦ICから約15分

〒294-0045 館山市北条740番地1
TEL: 0470-22-1811



青葉の森公園芸術文化ホール

- 京成千原線「千葉寺駅」より徒歩約15分
- JR千葉駅中央改札東口より星久喜台経由「ハーモニープラザ」下車 徒歩約8分
JR蘇我駅東口より大学病院行き「芸術文化ホール」下車 徒歩約5分
- 京葉道路・松ヶ丘IC/千葉東金有料道路・千葉東ICより約10分

〒260-0852 千葉市中央区青葉町977番地1号
TEL: 043-266-3511



TICKET

チケットのお申込み・お問合せ

1 インターネット予約

※要会員登録
※一部対象外公演あり
※深夜3:00~4:00はメンテナンス休止中



2 電話予約 (9:00~17:00)

千葉県文化会館 043-222-0201 千葉県東総文化会館 0479-64-2001
千葉県南総文化ホール 0470-22-1811 青葉の森公園芸術文化ホール 043-266-3511

上記の方法にてご予約の上、各ホールの受付カウンター(手数料なし)かクレジットカード(手数料あり520円)、コンビニ(手数料あり520円)にてお支払いください。チケットのお渡しは、カウンターでのお支払いの場合は現金と引き換え、クレジットカードもしくはコンビニ決済の場合は郵送となります。